

無料の育児相談窓口「森永乳業 エンゼル 110 番」から 「孫育て」 に関するレポート

『森永乳業 エンゼル 110 番』は、「子育て奮闘中のママのために何かお役に立てることは…」と
考え、1975年5月に開設した電話による無料の育児相談窓口です。今年の5月で開設34周年を
迎え、相談件数は82万件(2008年12月時点)にのびりました。

ここ数年、祖父母の利用が増えており、2008年の祖父母からの相談は全体の2.1%(のべ233人)
になり、2003年の0.9%に比べ2.3倍になっています。エンゼル110番がスタートした34年前
は子育てを一人で悩むママたちが多くを占めましたが、近年は出産後も働き続ける女性が増加し、
祖父母が孫を預かっていることも珍しくなくなっています。今後は、ますます二世世代による育児は増
えていくことでしょう。そこで、2009年上半期に寄せられた祖父母の相談を取り上げ、その傾向をま
とめました。

◆ 祖父母からの相談傾向

- ① 赤ちゃんの「発育・発達」「情緒」に関する相談が多い。(図1)
- ② 相談対象の孫は新生児・1ヵ月児の低月齢と1歳以降が多い。(図2)

◆ 祖父母からの相談概要 ～2009年1月～6月までの6ヵ月間～

【利用者】祖母112人／祖父4人 【新・再】新規相談99人／再相談17人

【孫の年齢】妊娠中3人／0～3ヵ月51人／4～11ヵ月26人／1歳12人／2歳10人／3歳14人

図1: 相談内容別件数

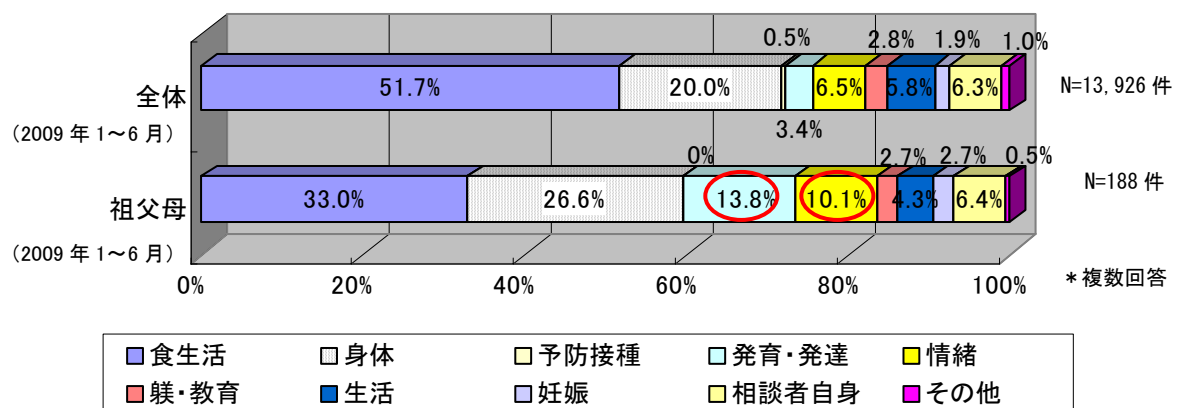


図2：月齢別利用件数

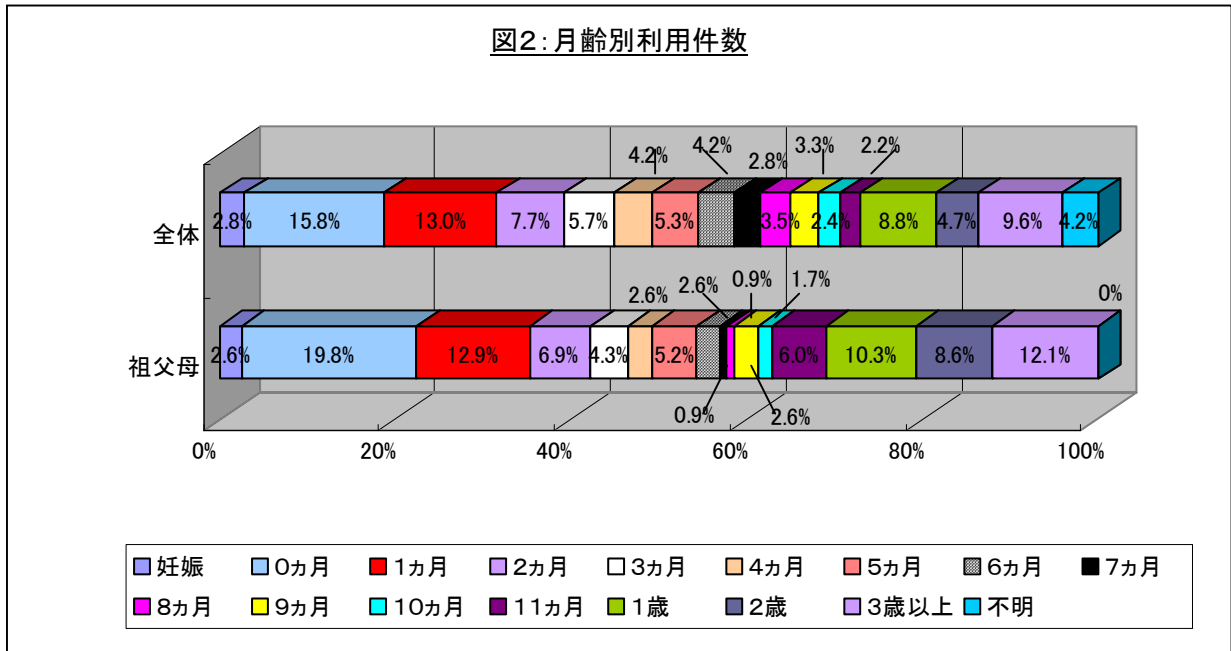


図1の祖父母の相談内容に目を向けると、全体の相談内容に比べて「発育・発達」「情緒」に関する相談が多いのが特徴的でした。

「2歳の孫。年末年始と一緒に過ごすことが多く、心配になった。おむつがとれていない。言葉がでない。嫁は優秀な人で口をはさめない」「4カ月健診で首すわりの遅れを指摘され、また保健センターに行くことになっている。娘が落ち込んでいる」「3歳の孫。とても自己主張の強い子。娘がノイローゼ気味。私は年齢的なものと思うが」など、嫁や娘に気を遣いながらの相談を多く受けました。

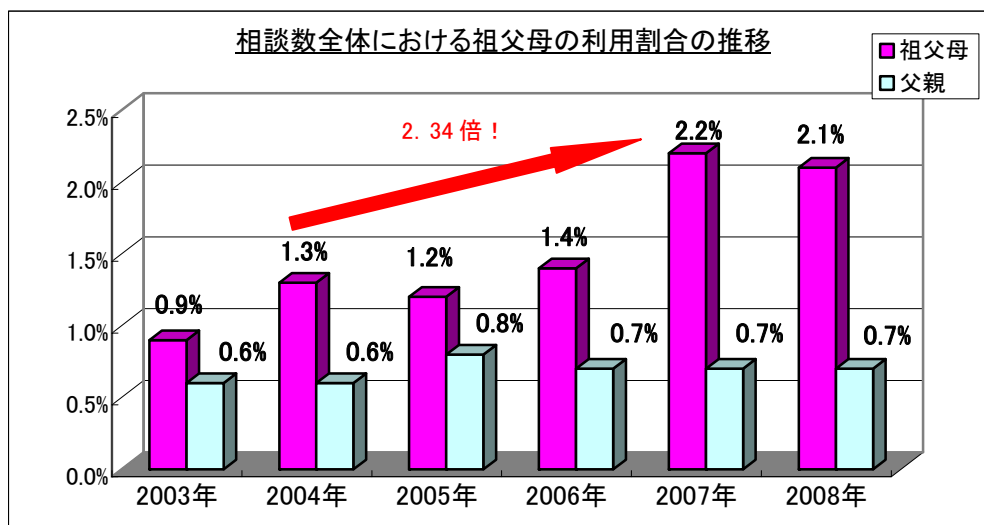
次に図2の孫の年齢に目を向けると、祖父母は新生児と1・2歳児の相談が多くなっています。里帰り出産などで産後間もないママに代わっての利用や、1・2歳は言葉や一人歩きなど発達の個人差が大きくなる時期で目につきやすいという理由と思われる。

また、「嫁の仕事の関係で、5歳の孫を毎週1泊2日で面倒をみている。疲れて、孫についていけない」「ママが仕事で3カ月になる孫を預かっている。私がミルクを与えようとしてもいやがって大泣きする」「親が共働きなので、預かっている。39.9度の熱があり、おたふくかもしれない。かかりつけの医者診察時間までどうしたらいいか(祖父)」など、共働きの両親に変わって育児を担っている祖父母からの相談もありました。

他には、エンゼル110番の認知媒体では、祖父母世代では新聞や雑誌などの「マスコミ」が多いことや、「自分が昔使っていた」という久しぶりのご利用が特徴的でした。

<参考資料>

1. 祖父母の利用割合はますます増加



相談全体における祖父母の利用割合は、2008年は「孫育てホットライン」を実施した2007年と、ほぼ横ばいですが、2003年と比較すると2.3倍になっています。

エンゼル110番への相談

東京 TEL03-3405-0110

大阪 TEL06-6365-0110

相談時間:月曜日から土曜日まで(祝日・年末年始を除く)午前10時～午後2時

ホームページ:<http://www.angell110.jp/>

妊娠中から就学前のお子さんのご相談におこたえします